

令和7年度 第1回 南河内基礎自治機能充実強化協議会 議事概要

【日時】令和7年5月28日（水）10：30～11：10

【場所】府庁本館5階 議会特別会議室（大）

【出席者】（発足式）

吉村大阪府知事

鈴木府議（基礎自治体の機能強化に関する調査特別委員会委員長）、西元府議（同副委員長）

須田府議（同委員）

山入端羽曳野市長、古川大阪狭山市長、田中太子町長、森田河南町長、菊井千早赤阪村長

城間大阪府総務部市町村局長

（協議会）

山入端羽曳野市長、古川大阪狭山市長、田中太子町長、森田河南町長、菊井千早赤阪村長

城間大阪府総務部市町村局長

■議事概要

- 人口減少等に対応し、将来にわたって持続的かつ安定的に住民サービスを提供しながら、この地域のさらなる発展・成長をめざすため、南河内地域の将来のあり方、将来課題への対応策について検討を進めることで合意した。

■出席者発言

（発足式）

●吉村知事：

今、大阪府と市町村で大阪を成長させていこうと様々な取り組みをしている。また、大阪・関西万博が開催中で、多くの方が大阪を訪れている。大阪は社会人口が増加しており、関西でも50数年ぶりに社会人口は増加に転じるとの見通しもある。これから大阪・関西の成長に向けて皆で力を合わせて進めていきたい。

一方で、自然人口で見るとやはり人口減少が進んでおり、高齢化もさらに進んでいく。その中で住民の皆様に安心して暮らしていただくためには、安定的な住民サービスが必要になってくる。非常に重要な課題であるため、本日は南河内の市町村長の皆様、また府議会の皆様、そして私も出席させていただき、この課題を共有したい。

本日この協議会を市町村の皆様と一緒に立ち上げることができたことに感謝を申し上げたい。この協議会においては、南河内の積極的なまちづくり、成長する南河内地域、そして住民の皆様に安定的に住民サービスを提供することができて、安心して暮らしていただけるまちづくりをめざしていきたい。この課題は南河内に限った話ではないため、先行的に取り組んでいただけることに改めて感謝を申し上げる。

また、あらゆる方向性や可能性を検討していく必要があるため、市町村合併というものやはり議論の対象に含めるべきだと思っている。

この協議会の取り組みは、南河内のより良い将来の道しるべになる。皆様と一緒にあるべき方向性を

めざしていければいい。一番の目標は、やはり南河内の住民の皆様、人口減少の中でも素晴らしい南河内で安心して暮らしていただく、安定的に住民サービスを提供できる、そういった地域をめざしてこれから末永く発展していけるように、皆様とともに作り上げていきたいと思う。よろしくお願いいたします。

●鈴木府議：

基礎自治体の機能強化に関する調査特別委員会から副委員長の水元議員、委員の須田議員にお越しいただいているが、同委員会の委員長として、代表して一言挨拶を申し上げる。

今日の南河内基礎自治機能充実強化協議会の発足式に、羽曳野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村の首長の皆様にお越しいただき、またお忙しいところ吉村知事にも出席をいただき、このように発足式が行われることを府議会としても、特別委員会としても、また地元の人間としても大変嬉しく思う。お礼申し上げる。

先日、読売新聞に市町村存続の危機という見出しで人口減少の時代の市町村を取り上げていただき、本当にありがたいことだと思っている。

従前から太子町、河南町、千早赤阪村で未来協議会が設置されている。この年明けから羽曳野市、大阪狭山市の首長の方々、そして副市長、市職員の皆様方と大阪府総務部市町村局が中心となり、様々な議論をしていただいたと聞いている。今日の日を迎えるにあたって様々なことがあったのだろうと思う。

ありとあらゆる政策を排除することなく、住民サービスを少なくとも現状維持、願わくば発展させていくということを考えていただくきっかけになればいい。首長の皆様方は、日頃から自然災害等に対して備え、住民の生命と財産を守っておられるが、人口減少はそれぞれの市町村でもう既に始まっていることであるので、この抗えない事実に対して皆様方が住民の皆様方に誠意と覚悟を持って、この協議会の発足に至ったということは、ありがたい。

また首長の皆様方を支えていただいた市町村の職員の皆様も、市町村議会の皆様とも様々なやり取りがあったと推測する。議会对応等をしていただいたことに改めてお礼を申し上げたい。府の総務部長、市町村局長においても、この日まで、本当に様々なご苦労があったと思う。お礼申し上げる。

ただ、この場に富田林市が参画されていないことは、誠に痛恨の極みで、遺憾でしかないということは、改めて申し上げておきたい。

南河内においては、都市整備部・富田林土木事務所を中心に自動運転バスに始まる新モビリティ事業の取組、また環境農林水産部・南河内農と緑の総合事務所を中心に「大阪産（もん）」の、南河内地域産の農作物のイベントに参画していただいていること、直近では、新たな駅前のまちづくりとして、初めて本格的に都市計画局が市町村や民間の方々とともにイベントをして出発したところ。南河内地域・南大阪が今熱い雰囲気です。先駆的な取組を進めていただいていることに感謝を申し上げたい。

知事にはぜひ、25年後の2050年を目標として、「大阪のまちづくりグランドデザイン」で現在行っている取組に合わせて、これからこの協議会で様々な協議がなされるが、そのステージごとに、大きなインセンティブとして、例えば、グランドデザインの南河内版のように、しっかりと大阪府の政策としても取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

もちろん私たち府議会議員としても、しっかりと取り組んでいく。令和6年に基礎自治機能の充実強

化の条例を初めて制定した。条例に基づく府議会の責務ということで、我々もしっかりと基礎自治体の皆様方、特に市町村議会とも連携、コミュニケーションをとりながら、皆様方の活動、そして市町村の取組を本気でお支えをしていくということを改めてお誓いして、私からのご挨拶とさせていただきます。どうぞ本日はよろしくお願いいたします。

【協議会】

●城間府市町村局長：

本協議会の設置の経緯についてご説明させていただく。ご承知の通り、太子町・河南町・千早赤阪村で南河内地域2町1村未来協議会を設置し、将来にわたり持続的かつ安定的に住民サービスを提供できるよう、さらなる広域連携のほか、選択肢の一つとして市町村合併を検討するための調査研究など、様々なテーマの検討を進めてきた。

令和6年度は、府議会の「基礎自治体の機能強化に関する調査特別委員会」の提案により、「大阪府基礎自治機能の充実及び強化に関する条例」が施行され、それを受け、府は今年3月に基本方針を策定した。基本方針の中では、基礎自治機能の充実強化に向けた自主的な取組を行う市町村に対して、これまで以上にきめ細やかな支援を行うこととしている。

人口減少等による課題への対応、住民サービスの充実強化は、2町1村に限らず各団体共通の課題であると認識しており、より広い範囲で連携して取り組むことで、より良い解決策を生み出す可能性があるとの認識のもと、羽曳野市、大阪狭山市を加えた2市2町1村で本協議会を設置することになった。

本協議会は2市2町1村の首長の皆様方、そして府の市町村局長を構成員として、南河内地域の将来のあり方や将来課題への対応策の検討に関することなどを協議事項として検討を進めてまいる。具体的な協議テーマについては、今後幹事会等を開催し、その中で議論が必要と考えているが、例えば、技術職員をはじめとする人材の確保の問題や地域の活性化、また、役所役場の組織のあり方などを考えていきたいと考えている。

検討体制としては、まずは担当職員で検討し、適宜首長の皆様方のご意見も頂戴しながら、今後の取組の方向性をしっかりと決定したい。またテーマに応じて府も全庁を挙げてサポートしながら検討を進めたいと考えている。以上が協議会の設置の経緯と協議会の概要の説明となる。

参考資料に、南河内地域2市2町1村の特性をまとめているので、それは後ほどご覧いただくとして、説明は割愛させていただきます。

●山入端羽曳野市長：

まずは基礎自治体の機能強化のための協議会を立ち上げていただいたこと、ご尽力いただいた皆様に厚く感謝を申し上げます。

基礎自治体の最大の課題は、迫りくる人口減少問題や少子高齢化による担税力の低下、住民サービスの高度化、多様化による行政コストの増大があり、その一方でインフラ、公共施設の老朽化や、これらの整理統合が求められる中での専門職員の不足など、手をこまねいても改善しないものばかりである。こうした一連の課題は、人口減少が府内でも著しい南河内地域全体の共通した課題であると認識している。少しでも早くこれらの課題に真摯に向き合い、解決策や対応策を生み出すことこそが、将来にわたり住民の皆様に安定した行政サービスを提供していく責務を負う、我々自治体の長に求められ

るものである。広域化による規模の経済を生かした取組、自治体を越えたサービスのあり方、観光振興による地域活性化の推進などを、協議会を通じて検討を深めていきたいと考えている。

人口減少が様々な行政運営全般に影響を及ぼすことが明らかな状況にあり、市町村だけでは解決できない課題も多数ある。広域行政体である大阪府からのご支援が必要不可欠であり、引き続き強力なサポートをお願いさせていただき、私の挨拶とさせていただく。どうぞ今後ともよろしくお願いしたい。

●古川大阪狭山市長：

南河内基礎自治機能充実強化協議会の発足を非常に嬉しく思う。そして期待もしている。これから人口減少を迎える中で、市町村の機能をしっかりと果たしていけるのか、どういう地域を作っていくのかということが問われている。将来にわたってしっかりと持続できる自治体、もしくは安定的に行政運営できる自治体というものをいかに作っていくのかということが大事になる。それぞれにある地域資源をしっかりと活用していくことが何よりも大切だと思う。

今まではそれぞれの自治体単位で行っていたことを、今後はこの2市2町1村でしっかりと連携し、新たな可能性を見だしていくことが、この協議会の大きな意義だろうと思っている。この協議会で、あらゆる可能性や選択肢をしっかりと追求して、それをしっかりと住民に理解を求められるように、我々も自治体としてその責務を果たしていかなければならないというふうに思っている。住民の理解がなく、我々だけで協議をしても、当然のことながら前には進まないの、そこをしっかりと我々も肝に銘じてやっていく必要がある。今回は特に大阪府議会の条例制定があつて、元々スタートしている。大阪府の皆様もしっかりとこの協議会の意義をご理解いただいており、力添えもあるというふうに思っている、しっかりと連携を強化しながらこれからの南河内地域の発展・成長に繋げていくように、私も微力ながら頑張っていきたいので、よろしくお願いしたい。

●田中太子町長：

南河内地域2町1村未来協議会で、大阪府にも入っていただきながら協議を重ねてきた。その中で、まずは2町1村で今すぐできるような取組を一つの柱として、様々な取組をさせていただいた。これから人口減少社会、高齢化社会を迎えるのが確実な中で、基礎自治体としてどのようなあり方がふさわしいのかを真剣に議論をしようということで、新たな住民の負担を求めなくてもいいように、基礎自治体の効率的なあり方についてしっかりと議論をし、その中で、当然合併についても排除することなくその議論の中に入れながら進めてきたところ。

今回、羽曳野市、大阪狭山市にも加入いただき、新たな協議会を設置できるということで本当に嬉しく思っている。3町村だけではなかなか議論が進まなかったことも、これからしっかりと進むことを大いに期待している。また新たな自治体にも広げていけたら、なおいいというふうに思っている、よろしくお願いしたい。

●森田河南町長：

この協議会が発足したことを、私も大いに期待するとともに喜んでいる。少子高齢化・人口減少が進んでいく中で、持続可能なまちづくり、持続可能なサービスを続けていくということについて、財政的にも課題が深刻になってきていると思っている。課題に対応するため、本町だけではできないことも

多々あるということで、同様の課題を抱えている南河内地域全体で、このような取組をするということ
は非常に必要だと認識している。

本日発足したこの協議会において、人材の確保、地域の活性化、そして組織のあり方などのテーマに
ついて議論して、より良いものを見つけ出し、積極的に進めていく必要があると考えている。また協議
会が非常に有意義なものになると思っている。

本町としても、この協議会の趣旨目的を十分に認識し、積極的に議論に参加して、南河内地域全体の
発展を見据えた上で、地域の将来像をどのように描けるかしっかり議論していきたい。どうぞよろしく
お願いしたい。

●菊井千早赤阪村長：

本日の協議会の発足にご尽力賜りました皆様方に厚くお礼申し上げます。

現在 2 町 1 村未来協議会の方でいろいろ取り組んでいるが、本村の場合、人口推移や財政力指数、住
民税などを見ればわかるように、2 町 1 村の中でも本当に厳しい状況である。これまでも水道・消防・
小児救急など様々な広域連携に積極的に参加しているが、今回このような協議会ができたので、さらな
る広域連携、そして合併などの様々な選択肢について、どうすれば本村は持続可能なサービスができる
かということを考えながら、議論に参加させてもらいたい。

そしてやはり村民に対しても広く、現在の状況なども積極的に P R しながら、気運醸成を図ってまい
りたいと考えているので、今後ともさらなるご支援を賜るよう、よろしくお願いしたい。

●城間府市町村局長：

首長の皆様方から積極的な意見を頂戴して、やはり将来にわたり持続的かつ安定的に住民サービス
を提供するというのが一番の重要なポイントだと感じた。

具体的な検討内容については今後協議させていただく。この 2 市 2 町 1 村と大阪府が課題認識を共
有して、しっかりと連携協力し、実のある取組を進めたいので、引き続きよろしくお願いしたい。